

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	九州共立大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	福岡
大学全体の総収容定員	2,720 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	経済学部（経済経営学科、地域創造学科）、スポーツ学部（スポーツ学科、こどもスポーツ教育学科）		
事業計画名	九州共立大学農学系学部設置計画		

2. 事業概要

本学が位置する北九州市をはじめとした九州地域において、農家の高齢化や若い世代の担い手不足が深刻化していること、および地域振興の観点から、農作物の特産品化等によって地域の魅力を発信することが求められていること等を踏まえ、農業をはじめとする食産業に係る知識・技能を修得し、地域の活性化を促す人材を育成することにより、食産業を持続可能かつ魅力ある産業に発展させる担い手の確保に繋げることを目的とした新学部を設置する。新学部では、近隣自治体や農業協同組合との連携のもと、農作物の栽培実習や食品加工実習、地域の直売所での販売・流通実習等の授業科目を各年次に展開し、食産業の仕組みについて、学生が実体験を通じて主体的に学ぶ機会を充実させ、農作物の高付加価値化や農作物の生産および流通過程の効率化等を図る手法を体験的に修得できるカリキュラムを編成する計画である。また、入学者選抜において、情報を含む文系科目のみで受験できる制度を構築し、文系・理系を問わず幅広い学生を受け入れることを計画している。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和11年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	食農学部（予定）					
設置等組織の学位分野	農学関係	家政関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	福岡県北九州市八幡西区					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	190 名					
他学部等の入学定員の減少数	150 名					



事業計画名 九州共立大学農学系学部設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和11年度	設置等組織名	食農学部（予定）	入学定員増数(合計数)	190名
所在地	福岡県北九州市八幡西区	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	150名

<社会や地域のニーズ・課題>

- 農業の担い手不足の解消に繋がる、農業に関心を持つ人材が不足している。
- 農作物の生産および提供を通じて、地域行事等に積極的に参画し、地域振興に寄与する人材の増加が期待されている。
- 特産品やレシピの開発および普及を通じて広く地域の魅力をアピールできる人材が不足している。

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 農業をはじめとする食産業に係る知識・技能を修得し、地域の農業の活性化を促す人材を育成する農学系学部を設置し、食産業を持続可能かつより魅力ある産業に発展させる担い手の確保に繋げる。
- 学内に農地やビニールハウスを整備し、学生個人の農業実習区画を設けて、学生が学んだ栽培技術を実践・探究できるようにする。

<教育内容・育成する人材像>

<教育内容>

- 食糧の生産、加工、流通・販売について横断的かつ、学生が実体験を通じて主体的に学べる教育内容とし、農作物の栽培実習や食品加工実習、地域の直売所での販売・流通実習等の授業科目を各年次に展開する。
- 1・2年次の段階では、各領域の基礎的な知識・技能を修得し、3・4年次に、それまで修得した知識・技能を用いて、自治体や地域住民と課題を共有しながら、学生の主体的な学修を実現できるよう体系的にカリキュラムを編成する。

<育成する人材像>

- 農作物の高付加価値化や農作物の生産および流過程の効率化等を図る手法を体験的に修得し、地域の農業を活性化できる人材を育成する。

<連携を通じた教育体制の整備>

- 北九州市および北九州農業協同組合、遠賀郡水巻町の職員および地元農家らを講師として招聘し、食品の生産、加工、流通に係る知識を学ぶ講義科目や農業実習科目等を配置する。
- 飲食店経営者等を講師として招聘し、食品の流通および提供に係る知識を学ぶ講義科目や、学内のカフェ等を活用した食品流通・販売実習科目を配置する。

<多様な入学者の確保>

- 文系・理系問わず受験できるよう、情報を含む文系科目のみで受験できる制度を構築する。
- 海外協定校との連携強化や新たな学生交流プログラムの構築に取り組み、積極的に留学生を受け入れる。

